１．利用したことがある方

(1) 運行の継続要望

多くの利用者が「便利」「助かる」と評価し、運行の継続を強く希望している。特に高齢者や歩行が困難な方からの感謝の声が多く、「通院や買い物に欠かせない」との意見が目立つ。

(2) 運行時間の改善希望

「夕方まで運行してほしい」「土日祝日に対応してほしい」といった意見が複数あり、運行時間の延長が求められている。具体的には、「夕方 17 時～18 時頃まで」や「早朝や土日祝日の運行」の希望が挙げられる。

(3) 運賃に関する要望

「運賃が高い」「料金体系を改善してほしい」という声がある。一部の意見では「運転免許証を返納した高齢者の無料化」や「回数券の導入」「往復割引」「運賃を乗降場所に応じて分ける」など具体的な提案が挙げられている。

(4) 利便性や運行内容の改善提案

「停留所をもっと増やしてほしい」「停車場所を細かく設定してほしい」との意見があり、利便性向上が求められている。「停留所の案内をもっと分かりやすく」「大きな文字や目印をつけてほしい」という情報提供方法の改善提案。「運行間隔を 30 分にしても問題ない」との意見もある。

(5) 利用者増加に向けたアイデア

「広報活動を強化してほしい」「利用者データを可視化して共有してほしい」といった意見。具体例として、「折れ線グラフや棒グラフで利用者データを提示」「ルート拡大」に対する期待が高い。

(6) サービスの評価と改善点

サービス面では「運転手の対応が親切」「乗り降りが楽」と好評価。一方で「車両定員が狭い」「荷物スペース不足」という課題が指摘されている。

(7) 実証運行の期待

利用者は、ルート拡大や運行本数増加など今後の発展に期待している。一部では「現金以外の決済方法の導入」「交通 IC カードやコード決済の対応」が求められている。

＜全体の要約文＞

利用者は運行の継続に強い期待を寄せており、特に高齢者や歩行困難な方にとって不可欠な存在となっている。便利で助かるとの評価が多い一方、運行時間の延長（土日祝日や夕方まで）、運賃の改善（回数券や割引制度導入）、停留所の増設、広報活動の充実といった具体的な改善要望が目立つ。サービスは概ね好評だが、車両定員や荷物スペースなど運行体験向上に向けた課題が残る。また、利用者増加に向けたルート拡大やデータの可視化、決済方法の多様化などが提案されている。

本コンテンツは生成ＡＩツールを使用して作成しています。

２．利用したことがないが、今後利用したい方

(1) 将来の利用の可能性

現段階で利用していない理由として「歩ける」「自転車に乗れる」「車が利用可能」などが挙げられているが、老後や足腰が弱った場合の利用を前向きに考える意見が多数。「将来的に便利そう」「自分が高齢者になった時に助かる」など、存続や継続への期待が強い。

(2) 運賃に関する課題

「料金が高い」と感じる声が多い。「はなバスと同じか安い料金で使えれば良い」「家族で利用するとタクシーと同じになる」などの具体的な意見が挙げられている。「障害者に支給されるタクシー券を利用できると良い」という提案も含まれている。

(3) 運行時間の改善要望

「朝の早い時間帯（８時台）や夕方（17 時台）まで運行してほしい」という具体的な時間帯の要望。「休日の運行」を求める声が多い。

(4) 停留所や運行ルートの改善提案

「公共交通機関の空白地域での運行」に感謝する意見。「東京老人ホームに乗降場所を設置」「児童センターの交差点に停留所を追加」など、停留所の設置要望が具体的に提案されている。「バス停の表示板設置」や「乗車場所をもっとわかりやすく」など情報提供方法の改善を求める声も。

(5) 自由乗降制度への期待

「フリー降車区間で乗車も自由にしてほしい」といった、さらなる利便性向上の提案。地方バスの事例を参考に、「乗り降り自由」の運行方式を導入するアイデア。

(6) サービス継続への要望

「実証運行後の継続」「オンデマンド運行」など、将来に向けて運行を続けてほしいとの声が多数。一部では「自動運転車の導入」に期待する未来的な視点も。

(7) 具体的な提案や改善要望

「ルートマップの表示を改善」「乗り場のステッカー貼付」など細かい提案が挙げられている。地域交通における利便性向上のため、「駐輪場の設置」や「近所の病院や買い物施設へのアクセス確保」への期待。

＜全体の要約文＞

現段階で利用していない人も将来的には必要になると認識しており、存続と継続への期待が強い。特に、高齢者や移動に課題を抱えた方が料金体系（はなバスレベルの低価格）、運行時間の延長（早朝・夕方、休日運行）、停留所の増設など利便性向上を希望している。また、自由乗降制度の導入といった具体的な提案も挙げられている。全体的に、地域公共交通の空白を埋める取り組みとして評価されており、将来の更なる進化が期待されている。

本コンテンツは生成ＡＩツールを使用して作成しています。

３．利用したことがなく、今後も利用予定のない方

(1) 運行形態やコストに対する疑問

「タクシーを路線バスとして使うのはコストが高い」とする意見が複数。実証運行の費用対効果に疑問を持つ声があり、「税金の無駄遣いではないか」「数値的な根拠を示してほしい」という要求。「ミニバンを購入して直営化する」など具体的なコスト削減案の提案。

(2) 料金に関する課題

多くの意見が「運賃 300 円は高い」と指摘。「はなバス並み（150 円）」に設定することで利用しやすくなるとの声が強い。特に高齢者や年金受給者が「料金負担の軽減」を求めており、「200 円ならまだしも」「往復 600 円は利用しづらい」という具体例が挙げられている。

(3) 運行時間と曜日の改善要望

「現役世代が利用できる時間帯に運行してほしい」との強い要望。「６時～９時」「18 時～23 時」の運行を希望する声が多い。「土日祝日に運行してほしい」「平日の運行時間を延長してほしい」といった提案。

(4) 対象利用者の不明確さへの指摘

「このサービスはいったい誰向けなのか」という疑問が多く、「現役世代が利用できない」「後期高齢者向けに偏っている」という批判。公共交通機関の空白地帯の補完が主目的であるべきだとの意見。

(5) 停留所やルートの改善提案

「柳沢駅へのバスがあれば便利」「武蔵野徳洲会病院を経由してほしい」など具体的なルート改善案。一部では「はなバスのルート見直しや増便」の方が効果的とする意見も。

(6) 利便性と利用者への周知不足

「利用の仕方が浸透していない」「お年寄りに使い方を広めるには時間がかかる」との指摘。空のタクシーが多く見られるなど、利用者数が伸び悩んでいるとの印象。

(7) サービス継続の期待と課題

「免許返納後に役立つサービスとして期待」「長期的な運行を希望」など、将来的な利用を見据えた意見。一部では、「実証運行だけではなく、本格運行や代替方法の検討」を求める声。

＜全体の要約文＞

利用者はサービスの趣旨に一定の理解を示しながらも、運行形態やコスト面に大きな疑問を抱いている。「料金 300 円は高い」「はなバス並みの 150 円が妥当」という意見が多く、運行時間や曜日の改善（早朝・夜間・土日祝日対応）が求められている。さらに、対象利用者の不明確さや周知不足も指摘されており、公共交通の空白地帯の補完という目的に立ち返るべきとの声がある。停留所やルート改善、利用者への周知強化、長期的な運行に向けたコスト効率の向上が期待されている。

本コンテンツは生成ＡＩツールを使用して作成しています。